

平成23年度 第1回 広島市公共事業(建設関係局所管)評価監視委員会
再評価に係る対応方針(案)一覧表

事業種別	事業名	対応方針(案)		対応方針(案)の理由及び今後の方針
		継続	休止・中止	
河川事業	一級河川山倉川都市基盤河川改修事業	○		流域内での市街化の進展に伴う雨水の流出増などに対応し、浸水被害から市民の生命・財産を守るため、早急に流下能力の向上を図る必要があることから、引き続き事業を実施し、平成24年度の事業完成を目指す。
土地区画整理事業	向洋駅周辺青崎土地区画整理事業	○		向洋駅周辺青崎地区は、地区の中央をJR山陽本線が走り、地域が分断されているため、一体的な市街地の形成が阻害されている。また、道路・公園・下水道等の都市基盤施設の未整備と老朽住宅の密集による防災上、衛生上の課題があり、それらを解決するため、東部地区連続立体交差事業と合わせ計画的な市街地の整備を進める必要がある。 本事業は、平成19年度に地区内に必要な公共施設充当地を取得し、現在仮換地案について、個別に説明しほとんどの地権者の了解を得たところである。今後は、JR山陽本線の北側一部地区から順次仮換地指定を行うこととしており、事業は順調に進展している。 よって、平成35年度の事業完了に向け本事業を継続して実施する。
街路事業	都市計画道路長束八木線(3工区)	○		長束八木線は、安佐南区を南北に縦断し、国道183号を補完する幹線道路であり、沿道地区と、都市機能の集積とアストラムラインやJR可部線、広島IC等の交通結節機能がある大町地区や緑井地区などの拠点地区を連絡するなど、JR可部線の西側地区の骨格をなす道路である。 また、近隣に教育施設や集客施設があり、広幅員の歩道整備による歩行者・自転車の通行の安全性・快適性の向上が十分に期待でき、さらに緊急時の避難路として機能し、消防活動困難地区の解消につながる等、整備効果が高いことから引き続き事業を継続する。本事業の整備スケジュールについては、効果の早期発現に向け、事業区間のうち北半分の道路新設区間を先行整備し、残る大型商業施設西側の現道拡幅区間についてはそれに続き整備を行い、平成20年代後半の完成を目指す。
住宅市街地総合整備事業	出島東公園	○		出島東公園は、平成11年に本地区に必要な都市施設(近隣公園)として都市計画決定され、用地の取得も完了している。 周辺地区において、近年、各種商業施設が多数出店し、マンションなどの住居の建設も進み、急速に市街化が進んできたことを踏まえ、平成24年度から平成25年度にかけて施設整備を行うこととする。